

2.1-4 福島第一事故で被ばくしたあと、病気はいつ頃発生してくるの？

放射線による影響があるか否かは被ばく線量の大小で決まります。

福島第一事故では被ばく線量が小さく、放射能に起因する病気は発生しません。

原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）は検討結果を次のように国連総会に報告しました。

「福島第一原子力発電所事故による多数の人の被ばく線量は小さく、今後多数のガン死亡が発生するとは考えられない」。

<http://www.unic.or.jp/news_press/info/7775/> 国際連合広報センター

これが世界の専門家による検討結果であり、最も信頼できる結論です。

福島約十倍の放射性物質を放散させたチェルノブイリ事故では、事故処理に当たった作業員に大きな被ばくを与え急性放射線症で 28 人の死亡者をだし、更に事故直後のヨウ素対策が不十分であったため小児甲状腺ガン患者が 6,000 人発生し、そのうち 15 人が死亡しています。急性放射線症と小児甲状腺ガン以外にも作業員 24 万人に 100 ミリシーベルトを超える高線量被ばくを受けさせましたが、上記以外のガン死亡はありませんでした。

これに対して福島の場合は住民の被ばく線量は最大でも 25 ミリシーベルトと推定され、UNSCEAR の結論の通り健康上の問題が発生するとは考えられません。

< <http://www.env.go.jp/chemi/rhm/conf/tyuukanntorimatomesegohyouhannei.pdf>
>

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う住民の健康管理のあり方に関する専門家会議 中間取りまとめ 平成 26 年 12 月 (P.20 他)、環境省

<http://www.kantei.go.jp/saigai/senmonka_g3.html>

首相官邸災害対策ページ、チェルノブイリ事故との比較 H23.4.15

なお、福島第一事故を大幅に上回る高線量被ばくの場合、ガンの増加は白血病が被ばく後 3 年から始まり 10 年後までであり、固形ガンが 10 年後から始まることが原爆被ばく者の調査で分かっています。

<http://www.nirs.qst.go.jp/publication/rs-sci/e_learning/index.html>

診療に役立つ放射線の基礎知識 3.1.5②、2013 年 3 月、放射線医学総合研究所

(2014 年 11 月回答)